























業種別景況予測

平成29年1月～3月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「不透明で先行の判断がつきにくい」「昨年同月比で急悪化」「全く不透明感」「いいもの＝売れるということはなくなってきた。消費者の購買意欲を掻き立てる何かを作らないといけないのでは」「付加価値のあるものを作らないとならない」とのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「同業種が廃業したが、もともとの仕事量が減少しての廃業のため、仕事が増えることはない」「現状維持できればよい」「今ある機械を使って依頼があれば出来ることをしている」とのコメントが寄せられた。			
工業			「3月頃まで受注増加を見込んでいる。顧客の原料値上がり前の在庫等の増加が影響」「材料費、人件費の値上がりを感じている」「高炉機の石炭、鉄鉱石等の値上がり、スクラップ価格の上昇により仕入価格は値上がりする見込み」「輸出向けお客様の好調により上向き」とのコメントが寄せられた。			
建設			「取引先の低コスト化において発注量（特に改修物）が減少している」「仕事がありません」「少しずつだがよくなっていると思う」「大手と仕事をしようとする労働保険、社会保険完備が必須となってきている」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「仕事内容を少し変えて頑張っている」「加速する人手不足で物流業界はいよいよ転換期に来ていると感じる」「庫腹状況は地元商品ではなく大阪市内等の主に雑貨品により満杯状況」「今年度はアメリカトランプ政権の影響がどのようになるか設備投資を含め慎重に物事を進めていく必要がある」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「生損保共に低金利のため魅力のある商品がなく、生損保共に苦戦している」「昨年度より自動車整備工場と取引ができるようになったので少しではあるが良い方向へ動いている（損保代理店）」「建設業は許認可取得への需要が強い」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「国内では飽和状態」「仕入先が減少」「材料、包材、仕入高が増えて売り上げは上がらず。収益は悪化」「客数は変わらないが、1人当たりの単価が減少している」とのコメントが寄せられた。			
サービス業			「4月より介護保険制度の一部改正につき平成29年度の収益は若干減少傾向（介護業）」「自費サービスの料金等やサービス内容を細かく分類して必要に応じて対処していく方針（介護業）」「高齢のため新規顧客を積極的に取らずに廃業も視野に入れて営業をしている（サービス業）」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成29年2月 ●調査対象企業 256社 ●回答数 122社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 中小企業相談所 TEL 0725-23-1111